

事業所名		ピンポン		支援プログラム		作成日		2025 年		2 月		4 日	
法人（事業所）理念		1. 法令に基づきサービスを実施する事業所であること 2. 透明性を持ち、地域や利用者様（ご家族）に開かれた事業所であること 3. 事故・怪我、災害などに備え、準備をおこなうこと 4. 苦情、クレームに対し、真摯に解決を目指す事業所であること 5. 地域に根ざし、地域の方と一緒に障がい者（児）支援が出来る事を目指す事業所であること ・お預かりしたお子様は事故なく、怪我なく無事に保護者の方にお返しすることを大切に支援します ・児童含め家族が心身ともに安全に健康に暮らせるように支援します ・大人の価値観を押し付けず、子供たちの笑顔を大切に支援します ・家庭的な表情が出せる場所である事を意識し、支援します ・児童の不利益を極力減らし、利益を増やし地域で暮らせるように支援します ・事故、怪我を未然に防ぐために事前準備を徹底します											
支援方針		ピンポンでは、利用者の皆さまが日々安全に穏やかに過ごせるよう、支援に取り組んでいます。将来的には地域社会で暮らしていく皆さまが、それぞれの「自立」に向かえるように「本人の生活の質の向上」を目指して、個別での対応に取り組んでいます。また、保護者の皆さまには日々利用の様子をご報告させていただき、情報の共有、支援の統一を図っています。又、関係機関における連携として、学校や他事業所の方と定期的に情報交換・情報共有の場を設けていただいております。関係機関、保護者様が同じ方向を向いていけるように連携した統一支援に取り組んでいます。											
営業時間		平日	14時30分～17時30分	休日	9時～17時30分	送迎実施の有無		あり	なし				
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康状態の把握・維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成・改善、基本的な生活スキル及び日常生活動作の獲得を支援します。健康な生活習慣の促進や、健康な心身と生活のスキル・日常生活動作の獲得を目指します。 1人ひとりの利用者様が健康な身体と心を持ち、安心して日常生活を送ることが出来るように支援します。											
	運動・感覚	運動能力や感覚統合に関する支援を行います。 感覚の調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減する事を目的とし、自己肯定感を高められるよう支援します。											
	認知・行動	認知機能の向上や適切な行動の獲得に関する支援を行います。 利用者様の発達レベルに応じた動作や学習の支援、認知の偏りや誤学習に対する予防と状況や場面に応じた適切な行動への対応力を支援します。											
	言語コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り、今後の進路や社会生活における関係性やコミュニケーション能力に関する支援を行います。言葉の読み書きに苦手さを抱える利用者様へのサポートや、言語でのコミュニケーションが苦手な利用者様に対してはサインや視覚支援を適切に使い分け、利用者様が最も高めやすいやり方でサポートします。											
	人間関係社会性	他者との関わりの中での社会性の発達と集団活動や社会参加に関する支援を行います。 集団活動でのルールに合わせた行動や、障がいがない方との交流を経験し、他者との関係や社会性の向上、社会生活における適応力の向上を支援します。											
家族支援		・お迎え時の会話やLINEを活用し、随時情報共有が出来る環境を整備。 ・必要に応じて面談や支援現場へ参観する機会を提供。保護者会等の開催により保護者同士が情報共有を行える場を提供				移行支援		・関係機関との連携を密に行い、本人及び保護者が安心して進学、就労、生活介護へ移行出来るよう支援する。隣接するフェリーチェを希望されている場合はスムーズな移行が出来るよう職員間での情報共有を適宜行っている					
地域支援・地域連携		・地域の公共施設、公共資源を活用 ・学校や地域の福祉サービス、相談支援事業所と連絡を取り、連携会議等へ積極的に参加し情報交換及び共有 ・新潟市が提供している文化芸術ボランティアや社会福祉協議会のボランティアの方々に依頼し、イベントとして児童と関わる機会を提供				職員の質の向上		・新人職員研修（1ヶ月） ・OJTの実施（身体拘束廃止、虐待防止、感染症対策） ・法定研修及び緊急時避難訓練の実施 ・ケース検討会への開催・参加 その他専門性を高める為の研修への参加。放デイネット等のコミュニティを通じて他事業所の方との意見交換					
主な行事等		・季節に合わせたイベントの開催（初詣、お菓子づくり、節分、水遊び、ハロウィン、クリスマス等） ・文化芸術団体やボランティア団体へ依頼しイベントを開催（和太鼓体験、卓球療法等） ・保護者向けの支援現場の参観や茶話会の実施（年1～2回）											